

公: ##

令和3年3月1日

事業所名 児童発達支援放課後等デイサービスモモの

| チェック項目 | | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 6 | | | 生活環境、職員数は適切であるが、子どもの姿や状況によっては部屋の狭さを感じる時がある。 |
| | ② 職員の配置数は適切であるか | 6 | | | 児童発達支援管理責任者1名 保育士3名 児童指導員1名 指導員2名 適切である。 |
| | ③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | 6 | | 必要に応じて刺激を減らしたりレイアウトを工夫して、子供たちが心地よく過ごせる環境づくりを行っている。 |
| 業務改善 | ④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | | 6 | | 毎月定例会議を開催して振り返りを行っている |
| | ⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 6 | | | 保護者向け評価表による評価と公表を実施。意向を把握、改善に努めていく。 |
| | ⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | | 6 | | 今年度より実施。 |
| | ⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | 6 | | 現在は利用者と事業所内のみ。今後の検討課題とする。 |
| | ⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | | 6 | | 今年度は地域の研修会が開催されなかったが再開されたら参加したい。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | | | 個別支援計画はアセスメントシート、聞き取り、観察などをもとに利用児童及び保護者のニーズや課題の把握をし、ガイドラインに添って計画を作成している。 |
| | ⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 6 | | | 適切なアセスメントシートを用いて聞き取りを行っている。 |
| | ⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 6 | | | 活動プログラムはスタッフ間で内容を考え立案し、全体で動きを確認している。 |
| | ⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 6 | | | みんなで話し合い、様々な経験をできるように意見を出し合っている。 |
| | ⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 6 | | | 長期休みや土曜日の活動では平日に出来ない施設見学や、手作りおやつなどのクッキングをしている。 |
| | ⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | | | 毎回の療育には個別課題や、小集団の活動を組み込むような計画を作成している。 |
| | ⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | | | 支援方法をその都度みんなと話し合い、反省も織り交ぜ確認しあっている。支援開始前、終了時は打ち合わせ、記録、振り返り、反省を |

| | | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|--|--|
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 4 | 2 | | 終了後も振り返りを行い次に向けての検証や改善を行っている。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6 | | | 当日に記録作成をしている。 |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | | | おおむね、6か月に一度、または必要に応じて支援計画の見直しを行っている。 |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | 4 | 2 | | |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 6 | | | 児童発達支援管理責任者が担当者会議に出席し怪異の内容をスタッフに報告している。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 6 | | | 送迎時の行き違いを防ぐため都度学校に下校時刻の確認をしている。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 3 | 3 | | 重心児の支援はないが、ちくたくや、学校保育園と連携し通所児童の発達状況を共通理解し、適切な支援につなげていくようにしている。 |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 3 | 3 | | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | 6 | | 該当児童なし。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | 6 | | 区の事業所研修などがコロナの影響で行われず、地域連携や情報交換を行える機会があれば参加したい。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | | 6 | | 事業所前の公園での活動時には地域児童と交流し活動をしている。 |
| | ㉗ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | 6 | | |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 6 | | | 送迎時や日々の連絡帳に利用児童の状況などを報告したり親からの相談を受けている。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | 6 | | 準備中である。 |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|---|--|--|
| 保護者への説明責任等 | ③⑩ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | | | 運営規定、利用者負担等に関して安心して利用していただけるよう丁寧に対応していく。 |
| | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 6 | | | 今後もより良い関係を築いていけるよう適切な支援を行っている。 |
| | ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 6 | | 準備中である。 |
| | ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | | 6 | | 今年度は苦情は無かったが、親との信頼関係を大切に、苦情があった場合は適切に対応したい。 |
| | ③⑭ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 6 | | | 活動予定をお便りやHPでお知らせしている。 |
| | ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか | 6 | | | 利用児童のの映像を使用する場合は同意書を取っている。 |
| | ③⑯ | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 3 | 3 | | 日々の活動を送迎時に丁寧に伝えている。 |
| | ③⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 6 | | | 9月にハッピーマーケットを開催。見学会の開催。 |
| 非常時等の対応 | ③⑱ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | 6 | | 各マニュアルを作成中。地震火災を想定した避難訓練を行っている。 |
| | ③⑲ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 6 | | | 定期的な訓練をこれからも行っていく。訓練後はスタッフ全体で反省を行い適切かつ迅速な対応ができるよう活動していく。 |
| | ④① | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 3 | 3 | | 日々の利用児童の言動や身体状況から虐待の早期発見ができるように事業所内研修を準備中である。 |
| | ④② | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | 6 | | 身体拘束は行っていない。(対象児童がいらない) |
| | ④③ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 6 | | | 食物アレルギーについて保護者と細かく情報を共有しスタッフ全体に情報を開示している |
| | ④④ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | 6 | | 準備中である。 |

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。